

まき 倶楽部

2024
冬
Winter



トピックス

守口グローバル整形外科

2024年1月5日診療開始

／守口グローバル整形外科

vol.136

令和6年1月5日（金）

守口グローバル整形外科 開院

診療科：整形外科・リハビリテーション科



INDEX

◎年頭所感/牧病院

◎関目地区避難所訓練に参加して

／おおさかグローバル整形外科病院

◎牧病院の在宅診療

一般的な内科疾患から認知症や末期がんまで幅広く対応/牧病院

◎ドッグセラピー導入開始/牧すこやかセンター

◎まきオレンジ喫茶/牧訪問看護ステーション



Medical for Happiness
牧ヘルスケアグループ

年 頭 所 感

牧ヘルスケアグループ CEO 牧 恭彦 (まき やすひこ)



新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年は辰年です。龍が高く天に昇るような素晴らしい年になってほしいところです。

2024 年度は 4 月に診療報酬介護報酬の同時改定が行われ、働き方改革もスタートします。また 2025 年度の「地域医療構想の実現」に向けて待ったなしです。

さて当法人は昨年の 8 月に社会医療法人の認定を取得いたしましたが、続いて 2024 年 1 月より法人名とビジョンを変更いたしました。法人の各施設より、各職種、職位から精鋭のメンバーを集めてプロジェクトチームを結成し、コンサルタント会社にもサポートを依頼し、繰り返し熱い議論を重ね、新たな法人名とビジョンを決定することができました。

旭区清水が発祥ということと先代が翠が好きだったということで「清翠会」の名前で、地域密着型の医療保健福祉の複合体として、55 年間地域包括ケア体制を構築してまいりましたが、新しい法人名には職員一同力を合わせて理念である「medical for happiness」という旗のもと、地域の医療機関、介護事業所、住民のみなさまと一緒に地域共生社会を実現し、それを続けるという意味を込めています。

今後とも、より公益性の高い法人としてこれまで以上に地域医療に貢献してまいりますので、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024 年 1 月 1 日より
社会医療法人 清翠会 から **社会医療法人 ONE FLAG** と、法人名を
変更いたしました。

VISION 実現したい社会



この旗印のもと、私たちは常に挑戦し続けます。

優れた専門性と最新の知見や技術により、

地域医療水準のさらなる向上に尽くします。

地域の医療機関、介護事業所、住民のみなさまと一緒に

地域共生社会を実現します。

予防から急性期、回復期、維持期、在宅ケアなど、あらゆる場面において

ONE TEAM となって全力で伴走します。

私たちは「Medical for Happiness」の実現をめざしています。

守口グローバル整形外科 2024年1月5日診療開始



守口グローバル整形外科
院長 村井 正和

守口グローバル整形外科は、おおさかグローバル整形外科病院のサテライトクリニックとして、はじめて守口市に診療所を開設します。幅広い年齢層を対象とした整形外科疾患の診療を行い、地域に根差したクリニックを目指します。手足にケガを負ったときや、首・肩・腰の痛みでお困りの時に気軽に受診していただけます。当院は大阪メトロ谷町線守口駅上、旧市役所跡地を再開発したイオンタウン守口3階に位置し、交通の便もよく、通院しやすいクリニックとなっております。

守口グローバル整形外科の特徴

おおさかグローバル整形外科病院との連携

サテライトクリニックの特徴を活かし、もし手術が必要となった方には整形外科専門病院への迅速な紹介が可能です。病院で手術を終えて退院された方に関しましても、クリニックで手術後のリハビリを行うことができます。肩や脊椎など、専門性の高い診療が必要となった場合も、おおさかグローバル整形外科病院と連携して患者様一人一人に合った専門的治療をサポートしていきます。

リハビリテーションの充実

リハビリテーションのために準備したスペースは170㎡以上となっており、リハビリ機器も充実しています。広い室内で運動器を対象としたリハビリテーションを実施します。スタッフの充実によりスポーツ障害も含めた幅広い疾患に対応します。

MRIの設置

当院ではキャノンメディカルシステムズのMRIを設置しています。また、クリニック内の症例に限らず近隣の医療施設からも気軽に撮影のご依頼をいただける体制をとります。

気軽に受診できるクリニック、皆様に信頼されるクリニックを目指して参りますので、末永くよろしくお願いいたします。



広い待合



診察室



MRI



骨密度検査装置



リハビリ室

関目地区避難所訓練に参加して

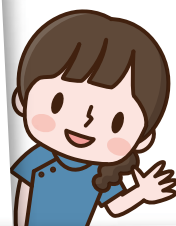
おおさかグローバル整形外科病院
外来
ふじおか ともこ
藤岡 朝子

10月21日(土)関目小学校で地区避難所訓練に参加しました。地域の老若男女36名の方に約50分の限られた時間でしたが「災害時に身近なもので行える応急処置のやり方」について説明しました。説明後質問の中には「骨折の場所が分からない時はどうしたらいいですか?」「自分ではなく相手の処置をするにはどうしたらいいですか?」「直接骨折したところを固定したらいいですか?」といった内容で、災害において意識が非常に高い地域だと感じました。

次に正しい手の洗い方についてお話ししました。参加者全員にまずは自分のやり方で手指洗浄をしていただき、その後に手洗いチェッカーで確認していただいたところ、指先、爪に洗い残しがあり再度資料を見ながら正しい手指洗浄方法についてお話ししました。参加者の方から「結構残っているね」「綺麗に洗えていて良かったわ」との感想をいただきました。

最後にマスクの正しい装着方法と外し方について説明し、「マスクに裏表がありますか?」「上下は分かるけど、裏表が分かりづらいんですけど」などの質問も聞かれました。

短い時間でしたが、地域の方と交流し私自身も良い経験となりました。今回参加いただいた方には、今後慌てずに初期対応を行ってもらえる良いきっかけになればいいなと思います。



牧病院の在宅診療

一般的な内科疾患から認知症や末期がんまで幅広く対応

牧病院は内科を中心とした急性期病棟(40床)・地域包括ケア病棟(35床)を有する急性期ケアミックス病院として、24時間365日体制で内科救急患者(二次救急)を受け入れています。

在宅診療科では、患者さんの状態等に合わせた訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、訪問栄養指導などチームによる在宅医療を提供しています。また地域の救急病院として、かかりつけや連携医療機関の在宅患者さんの救急受入・各種検査・入院等のニーズに対しても、幅広く対応しています。もし当院での対応が困難な場合は、他院と連携して転院や紹介等の調整を行います。

緊急時の対応をスムーズに行えるよう在宅診療開始時に、ACP(Advance Care Planning)の一環として事前要望の確認も行っています。

在宅診療の対象者

- ご本人、ご家族が在宅医療と定期的な訪問を希望される方
- 身体的・精神的・社会的な理由で通院が困難な方

訪問診療時間

月～金 9:00～17:00 (休診日を除く)

※ 緊急時は往診・救急受入など24時間対応

診療内容

内科診療全般

一般的な内科診療、在宅酸素、認知症、寝たきり、褥瘡、中心静脈栄養、気切交換、バルーン交換、悪性腫瘍末期、在宅自己注射、特定疾患、難病 等

※診察、処置、処方、各種検査(血液検査・尿検査・超音波検査)等を実施します。

在宅診療科の医師紹介



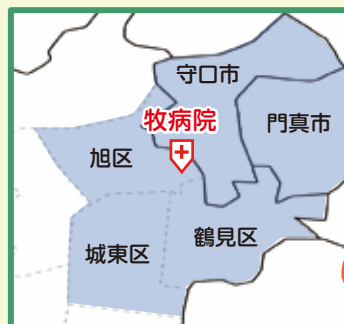
世古 哲平
(内科・認知症サポート医)



永田 敦子
(内科・精神保健指定医)

訪問対象エリア

旭区・城東区・鶴見区・守口市・門真市



まずはお電話やホームページでお気軽にご相談ください



Medical for Happiness
牧ヘルスケアグループ

牧病院 在宅診療科

TEL 06-6953-0120 詳細はHPを確認!

牧病院 在宅

検索





ドッグセラピー導入開始



おかばやし まもる

診療部 リハビリテーション科 主任 岡林 守

牧すこやかセンターでは 2023 年 8 月からドッグセラピーを始めることになりました。

きっかけとして、コロナ禍で施設自体が閉塞的になっており、以前に比べて利用者様の笑顔や活気が減少していました。利用者様と会話する中で「犬に会いたいわ〜」という声が聞かれた事がありドッグセラピーの導入に至りました。

ドッグセラピーとは、AAA（動物介在活動）：動物とふれあいを主にした活動。AAT（動物介在療法）：治療行為として行われる補助療法。AAE（動物介在教育）：動物のふれあい方や命の大切さを学んでもらうための活動。以上、3種類に分けられます。

今回、当施設では AAT（動物介在療法）を行いました。ドッグセラピーを導入するにあたって、事業者の代表者と打ち合わせを行い、利用者選定や、リハビリの目標、注意点などを確認し合いながら当日を迎えました。

ドッグセラピー当日は利用者様も犬に会うまでは緊張されたご様子でしたが、犬が登場すると拍手と笑顔で迎えておられました。大型犬が来所したこともあり、大きさにびっくりして、怖がられていた利用者様もおられました。しかし、挨拶やふれあいをすることで強張った表情も和らぎ、今まで見たことのない笑顔になっていました。

ドッグセラピーの内容としては、「ボールを投げて取ってきてもらう」や「輪くぐりをするフラフープを把持する」、「リードを持って散歩する」など、様々な活動を行いました。

はじめは「できるかな〜?」と心配されていましたが、積極的に体を動かして参加されており、充実した時間を過ごすことが出来ました。活動後にも、当日の写真を見ながら会話をする中で、「名前を憶えておかなあかな」や「次に来てくれるのが楽しみ」など活力が湧いてきていると感じています。

まだ、始まったばかりの活動で毎回、反省点や改善点が必要な活動ではありますが、利用者様の心身機能向上や日常生活自立度向上の為に計画を立てて介入してもらいたいと思います。





まきオレンジ喫茶



晴れやかな秋空が広がる2023年10月23日、牧訪問看護ステーションで『まきオレンジ喫茶』を開催致しました。

懐かしい音楽を取り入れ、ご家族様のギター演奏や患者様が作成した人形で人形劇、ドッグダンスセラピーやダンスクラブの歌唱とダンス。認知症になってもいのち輝く未来社会を目指して、関西万博公式企画の「いのち輝く折り鶴100万羽プロジェクト」の折り鶴を折りました。ご利用者様はじめご家族様、職員共に和やかな時間になりました。

また、あさひさんさんオレンジチームからの認知症についてのお話や終了後の相談、その他福祉用具のご紹介等をさせて頂きました。

認知症カフェ（オレンジカフェとも言う）は、2012年、厚生労働省の新オレンジプランの中で取り上げられ、2021年の段階で7904か所が開設していると言われています。認知症カフェは認知症のご本人やご家族が身近な場所で、医療や福祉の専門職に相談したり、地域の方と交流できる場のことです。

私達、在宅チームは、旭区とその周辺の地域が、穏やかで優しい街である事を切に願い、人が産まれて老いていく自然の流れの中で、地域の人々が共に寄り添いお互いの持っている力を発揮しながら、共生していけたらという想いです。

認知症に罹患した患者さんの豊かな人生経験から、私達は学ぶべきことが沢山あります。その学びから、私達は今後も日々研鑽して、ゆっくりと心とむ『まきオレンジ喫茶』を試行錯誤しながら続けていきます。今後は牧ヘルスケアグループ全体で、職員と力を合わせ、認知症を正しく理解して、予防対策についても取り組んでいきます。

次回は桜花の候に開催できたらと考えております。



